

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

アンケート期間:令和 5 年 1 月 6 日～平成 5 年 2 月 2 日

事業所名 S.I.C.KIDS熱田校

保護者等数(児童数)19

回収数 15

割合 78 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0	毎週レイアウトなど変わっていて子供もあきずに楽しめると思います。/十分だと思います。	引き続きご利用者様が楽しめる環境を整えていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0	どのコーチとでもたのしそうにトレーニングできています。/適切だと思います。	今後も状況に応じて適切に対応していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	1	1	1	ドアがすこし重い。/車ととめにくい所にとめてある時があるし線がないため。/1階なので特に不自由は感じません。	安全のため、自動ドアの電源を切っています。/白線を引き、駐車場の整備をします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	1	清潔で気持ちが良いです。/トレーニングしているところを定期的に見学したいです。/特に不安はありません。	見学のご案内をして、支援の様子を見ていただく機会を作ります。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	2	0	0	よく話を聞いてくれたうえで、こちらが気づいていない点も指摘してもらえています。	保護者様からのお話を伺ったり、支援の様子をお伝えしたことを職員間で共有し、支援計画に反映してまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1	0	2	内容がよくわかりませんでした。/十分だと思います。	契約日以降、約半年毎に保護者様との面談を行い、アセスメントを取っています。また、モニタリングと会議を行い、支援計画を作成しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	0	十分だと思います。	支援計画の目標に向けた支援を継続してまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2	0	1	常に見ている訳ではないので分かりません。	見学のご案内をして、支援の様子を見ていただく機会を作ります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	7	幼稚園へ通っているのでも必要と感じていません。	ご希望があれば今後検討して行きます。
保護 者へ の 説 明 等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	0	十分だと思います。/分かりやすく丁寧に説明して頂けました。	引き続き分かりやすいご案内をさせていただきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	1	0	1	十分だと思います。	引き続き分かりやすいご案内をさせていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4	1	4	6	「家族支援プログラム」とは？	ご家庭に寄り添った支援をしていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	2	0	0	いつも話を聞いて下さる。/長期的な目標に向かって理解できていると思います。/動画や写真を送っていただき、わかりやすいです。/来所時に確認してもらえます。	保護者様からのお話を伺ったり、支援の様子をお伝えしたことを職員間で共有し、支援計画に反映してまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	1	0	苦手なことや出来ない事を教えて頂け、家で練習できます。/相談できるので助かっています。	契約日以降、約半年毎に保護者様との面談を行っています。日常での質問に対しては、その都度お話の機会を設けています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	8	4	保護者との交流の場はありませんが、無くても差し支えありません。/開催予定はありますか?/特に必要と感じていません。	今後は、保護者様同士の交流の機会を検討していきます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	2	0	2	特に不安はありません。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	1	1	特に不安はありません。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	3	1	3	「自己評価」とは？	ホームページへ掲載する予定です。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	9	3	0	3	他の保護者の方に相談内容が聞かれているか少し不安です。	今後、配慮して行っています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	2	2	4	十分だと思います。/分かりやすく掲示してあるので確認しています。	引き続き、保護者様への周知や訓練を実施していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	0	3	6	十分だと思います。	引き続き、災害訓練を実施していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0	SIC行こうと毎日言ってます。/とても楽しみにしています。/いつも「楽しかった」と帰ってきます。	引き続き、利用者様が楽しむことができる事業所を目指していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	14	1	0	0	とても成長が感じられます。/コーチの皆様、優しくしっかりと対応して下さいます。	引き続き、ご利用者様、ご家族様に安心して通っていただける事業所を作りをしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 5年 5月 1日

アンケート期間:令和 5年 1月 6日～令和 5年 2月 2日

事業所名 S.I.C.KIDS熱田校

保護者等数(児童数)

12 回収数

9 割合 75 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	1		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9	0	0	0		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	4	3	運動療育を丁寧にしてもらえて助かっているのですが、特に必要ないです。	ご希望があれば今後検討して行きます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	5	2	特にないですが個別運動療育をしっかり提供してもらえるので不要です。	今後は、保護者様同士の交流の機会を検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	0	0	7	苦情等がない為わかりません。	迅速に対応しております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	1	2		ホームページへ掲載する予定です。
	14	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	1		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	0	0	2		引き続き、保護者様への周知や訓練を実施していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	1	4		引き続き、災害訓練を実施していきます。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	1		
	18	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	0	運動がとにかく出来ないで、支援を本当にありがたく思っています。	引き続き、ご利用者様、ご家族様に安心して通っていただける事業を作りをしていきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 2 月 2 日

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 S.I.C.KIDS熱田校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		常に安全点検を行い、安心して過ごせるようにしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		担当利用者の支援後に、記録や情報共有の時間を設けられるようにしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者の利用する動線は、分かりやすいよう簡素化しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		消毒・清掃を行い清潔な空間にしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善のための計画や振り返りを毎日のミーティングで行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けの事業所評価を行い、可能な限り意見に対応し、頂いた意見はスタッフで周知、共有し改善しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		児童発達支援ガイドラインに基づく事業所評価を行い、結果の分析を行った上でホームページで公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は、今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修に参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様との面談の後に支援計画会議を開いて情報共有をしている。支援計画に基づいた支援をしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査を基に支援計画をしています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様との面談の後に支援計画会議を開いて情報共有をしている。支援計画に基づいた支援をしています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		情報共有をしながら支援計画に基づいた支援をしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		その日の運動工程を立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その日の運動工程をご利用者様の様子に合わせて立案しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		お子様の特性と成長に合った支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングを行い、活動のシミュレーションを行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了ミーティングを行い、その日のうちに情報共有し、改善すべき点に対応し、反省点などをフィードバックしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は個別で残し、支援に改善が必要な時は情報共有しながら改善に努めています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを行い、随時相談や面談を受け付けています。保護者様の困りごとに寄り添いながら相談支援し、サポートを行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要な時、行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		該当する児童はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		該当する児童はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		交流機会はありますが、他児とのコミュニケーションが取れるように支援しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援の開始前にお子様の様子を伺ったり、支援後に様子をお伝えしています。また、職員間でミーティング時に共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		定期的なモニタリング時やご要望があった際に相談支援しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、またが変更があった際にご案内しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング時において、ご案内しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的なモニタリング時やご要望があった際に相談支援しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご希望にそえる形で、今後検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応させて頂いています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINEによる連絡体制を取り、定期的に保護者様に個別に活動の様子を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫にて保管し、情報が外部に漏れないようにしています。職員が入職する際に書面にて締結しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		ご希望を聞きながら、今後検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定しています。毎月一回訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月一回避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時にお伺いし、状況の確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にお伺いし、状況の確認をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集を作成して、回覧、ミーティング等で情報共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施し、職員間で共有しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		支援計画書に記載し、身体拘束が行われた場合は必ず保護者様にご説明を行うように取り組んでいます。	事例等を参考にしてミーティングを実施し、職員間での共有を継続していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 2 月 2 日

公表: 令和 5 年 5 月 1 日

事業所名 S.I.C.KIDS熱田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		適切なスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置の基準を満たしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差が無く、出入口への動線が確保されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		適宜研修を行い、業務改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けの事業所評価を行い、可能な限り意見に対応し、頂いた意見はスタッフで周知、共有し改善しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		児童発達支援ガイドラインに基づく事業所評価を行い、結果の分析を行った上でホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は、今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修に参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様との面談の後に支援計画会議を開いて情報共有をしています。支援計画に基づいた支援をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査を基に支援計画をしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		その日の運動工程を立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		その日の運動工程をご利用者様の様子に合わせて立案しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		常にその日の運動工程をご利用者様の様子に合わせて立案しており、長期休暇中なども家での様子を伺い、保護者様とご利用者様のご意向を取り入れています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		学校や生活状況に合わせて計画をしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングを行い、工程の確認を行い支援しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを常に行い、気になった点や気づき等を共有し、ミーティングを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は個別で残し、支援に改善が必要な時は情報共有しながら改善に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを行い、随時相談や面談を受け付けています。保護者様の困りごとに寄り添いながら相談支援サポートを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		他事業所や学校との連携を図っています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○		保護者様に送迎をお任せしているので、特に必要性は無いと感じております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—		該当する児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要な時に園との連携を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		該当する児童はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		交流機会はないが、他児とのコミュニケーションが取れるように支援しています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の支援の内容や困りごとを保護者様と情報の共有を行い、ご家庭での支援にも寄り添い、共通理解を持ち話す時間を設けています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様からの相談時にできることから少しずつ、ご負担にならないペアレント・トレーニングを支援しています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、またはご利用開始時に不明な点がないように確認を行いながら説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時、面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご希望にそえる形で、今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応させて頂いています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		LINEによる連絡体制をとり、定期的に保護者様に個別に活動の様子を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫にて保管し、情報が外部に漏れないようにしています。職員が入職する際に書面にて締結しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		ご希望を聞きながら、今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを策定しています。毎月一回訓練を行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月一回避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実行し、職員間で共有しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		支援計画書に記載し、身体拘束が行われた場合は必ず保護者様にご説明を行うように取り組んでいます。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		該当する児童はいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集を作成して、回覧、ミーティング等で情報共有しています。	